

1. 教育目標

輸血学においては、安全で効果的な輸血療法について学習・研究する。また、輸血関連合併症の診断・治療の際の知見を修め、有効な予防について研究する。細胞治療学においては、様々な細胞療法に関する最新の知見を学び、新たな細胞療法の開発研究を行う。特に新たな細胞製剤の開発、および新たな細胞治療戦略の開発と確立を行う。

2. 到達目標

- (1) 適正輸血を修得し実践する。
- (2) 輸血関連合併症の予防診断治療の知見を得る。
- (3) 新しい細胞療法を開発する。
- (4) 細胞プロセッシングセンターで細胞製剤の作製法を修得する。
- (5) 細胞療法の臨床研究を行う。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

課題におけるレポート提出（20%）、実験内容のレポート提出（15%）、口頭試問の実施（10%）、研究成果の発表（10%）、発表・討議の内容（15%）、臨床カンファでの発表（30%）

4. 教科書・参考書

特に定めないが、必要に応じて参考資料等を配布する。

5. 準備学習

予習としては、関連文献を検索し、知識を整理して授業・実習に臨むこと。（1時間以上）

復習としては、講義内容を整理し、ノートなどにまとめておくこと。（0.5～1時間程度）

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【輸血・細胞治療学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	輸血学基礎	日笠講師	月曜/3限	半年	2	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	細胞の調整	[山原研究教授]	火曜/3-4限	通年	4	輸血・ 細胞治療センタ ー
演習	症例検討および文献抄読	日笠講師	水曜/3限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	細胞製剤作製	吉原助教	木曜/3-4限	通年	4	共同研
実験 (臨床) 研究	細胞製剤による治療	[山原研究教授]	金曜/3-4限	通年	4	共同研

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 (臨床) 研究	細胞の調整	日笠講師	火曜/6-7限	通年	4	輸血・ 細胞治療センタ ー
演習	症例検討および文献抄読	[山原研究教授]	水曜/6限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	細胞製剤作製	日笠講師	木曜/6-7限	通年	4	共同研
実験 (臨床) 研究	成分採血の実施	日笠講師	金曜/6-7限	通年	4	共同研

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	症例検討および文献抄読	[山原研究教授]	火曜/1限	半年	2	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	成分採血の実施	吉原助教	金曜/1-2限	通年	4	輸血・ 細胞治療センタ ー

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	輸血合併症の診断と治療	日笠講師	月曜/6限	半年	2	カンファレンスルーム
演習	症例検討および文献抄読	吉原助教	木曜/6限	半年	2	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	成分採血の実施	[山原研究教授]	金曜/6-7限	通年	4	輸血・ 細胞治療センタ ー